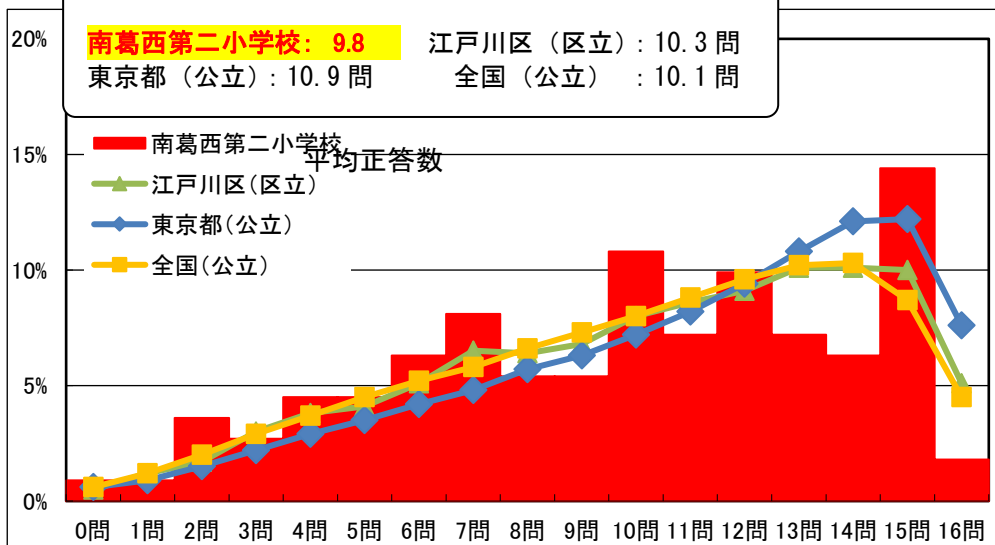


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】南葛西第二小学校

正答数分布



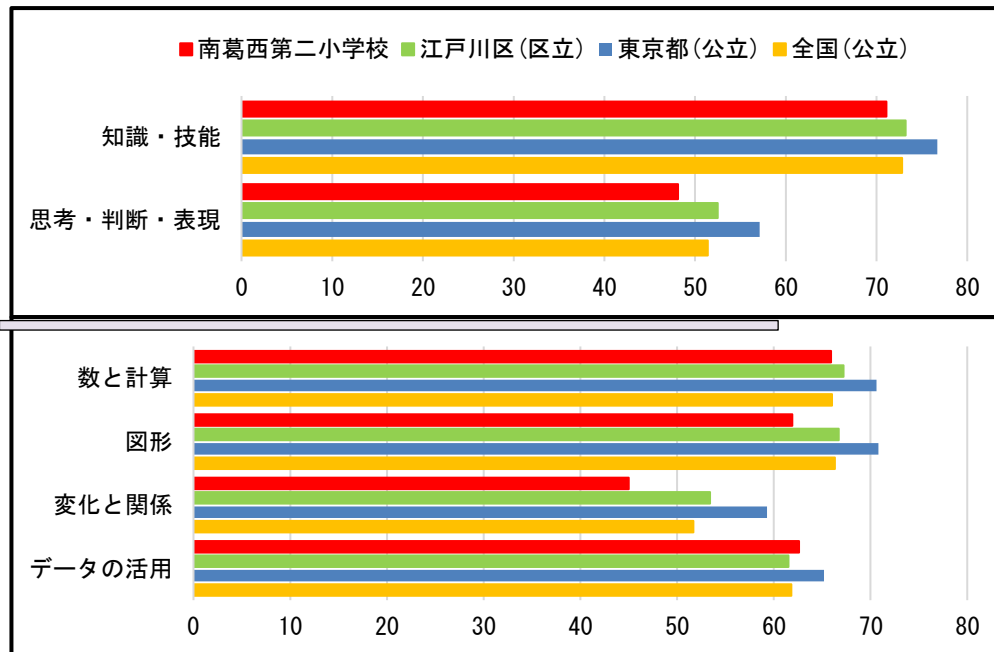
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
南葛西第二小学校	22.5	17.1	28.8	30.6
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

都平均との差が一番大きいのが、分速を求める問題で、その差19.2ポイント。次に大きいのが、どちらが速いのか、なぜなのか文章で書く問題で、その差15.6ポイントである。授業改善として、問われていることを○で囲んで、はっきりさせる。答えを数だけではなく、文として答える習慣を身に付けさせる。学力を高めるには、CD層には、できる分かる授業を、繰り返し、楽しく興味をもてるように行って、学習スキルを確実に身に付けさせる。AB層には、難問にも挑戦させ、思考力を更に伸ばすようにする。

【平均正答率の差】

南葛西第二小学校	61%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	7ポイント